



澤口副代表の報告に地域活性化を期待する参加者

観光交流で地域活性化

八幡平松尾地区観光交流振興事業シンポジウム

八幡平松尾地区観光交流振興事業シンポジウム(同地区農泊推進協議会主催)は3月2日、八幡平ハイツで開かれ、観光によるまちおこしについて学びました。

シンポジウムには関係者約50人が出席し、講演や先進地の事例を傾聴。オーストラリアでのスキー旅行営業やインバウンド誘客の先進地である長野県白馬村視察などを報告した同協議会の澤口毅彦副代表は「空き家の活用や農業体験システムをつくり、先進地と営業ツールを連携したい」と意気込みを示しました。

空家等対策計画を策定

第4回八幡平市空家等対策協議会

第4回八幡平市空家等対策協議会は2月22日、市役所で開かれ、齋藤俊二会長が市空家等対策計画の策定を田村正彦市長に報告しました。

田村市長や学識経験者、公募で選ばれた市民で構成される同協議会は、空き家などに関する対策を総合的かつ計画的に実施するための協議を重ねてきました。

市空家等対策計画(概要版)は、4月中旬に全戸配布するほか、広報はちまんたい5月号で紹介します。



田村市長へ市空家等対策計画策定を報告する齋藤会長(左)

地域で育てる豊かな心

平成29年度市教育振興運動推進大会

29年度市教育振興運動推進大会は2月24日、西根地区市民センターで開かれ、約300人が出席しました。

始めに、平笠実践区が「地域が守り育てるおらほの子ども」と題し、郷土の伝統行事などを発表。続いて、柏台実践区や平館高校家庭クラブが活動内容を紹介したほか、文部科学省コミュニティ・スクールマイスターの野澤令照氏が「地域とともにある学校づくり」と題し、講演しました。同大会では「三行詩」や「スポーツ部門」の表彰も行われました。【関連25頁】



平笠実践区の発表で田植え踊りを披露した保存会の皆さん

地域の交通安全に尽力

交通栄誉章緑十字銀章受章

交通安全国民運動中央大会は1月19日、東京都文京区の文京シビックホールで開催され、八重樫俊則さん(71)が交通栄誉章緑十字銀章を受章しました。

現在、市交通指導隊西根地区副隊長を務める八重樫さんは、平成2年に入隊。児童生徒への街頭指導や交通安全教室の実施、飲食店訪問による飲酒運転撲滅運動など、日ごろの功績が認められました。八重樫さんは「これからも地道に活動を続け、交通安全に貢献していきたい」と決意を新たにしました。



田村正彦市長に受章報告に訪れた八重樫さん(2月27日)

キャンプから続々起業

あぶりしえいと合同会社企業立地協定書調印式

あぶりしえいと合同会社(高橋知憲代表社員)と市は3月19日、西根総合支所3階の市起業家支援センターで企業立地に関する協定書を取り交わしました。

高橋代表は第3回スパルタキャンプ修了生で、同キャンプの運営やアシスタント講師として活動。「ITを通じて地域の活性化を図っていきたい」と思いを描き、同社を設立しました。同社は最初の仕事で、市の温泉利用統計システムの開発を受注。地域に根ざした業務に当たっています。



同センターに社名プレートを取り付ける高橋代表



関さん(右)指導の下、さまざまな調理法を学ぶ参加者

そば粉の郷土料理学ば

市アグリプロダクション(4Hクラブ)農産加工研修

農家の青年が所属する市アグリプロダクション(4Hクラブ)の農産加工研修は2月27日、畑コミュニティセンターで開かれました。

当日は、部員ら4人が参加。食の匠、関節子さん＝赤坂田＝が講師を務め、部員が生産したそば粉を使った郷土料理「そばかゆもち」を作り、昔ながらの味を堪能しました。参加者の八幡有城さんは「味付けや調理法で、いろいろなバリエーションを楽しめる」と、そば粉の可能性を感じていました。

すなっぶギャラリー



安代地区スノーバスターズの活動が評価され安代中が「小さな親切」実行章を受章(3月12日、同校)



3月1日で100歳を迎えられました遠藤治左工門さん＝中村＝いつもでもお元気で(2日、自宅)



福祉のために「歌謡と踊りの祭典」の募金123,775円を手渡す清水田ノブ実行委員長(中央)(3月22日、市役所)



市消防団第24分団に小型動力ポンプ付積載車が引き渡されました(3月14日、市役所庁舎前)



入隊予定者の6人を家族や関係者で激励しました(3月11日、市自衛隊入隊(校)予定者激励会)